

事務事業名		出流原PAスマートインターチェンジ推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり				担当組織	担当部	総合政策部	担当課	北関東自動車道沿線開発推進室
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり				担当係	出流原PA周辺開発推進係	担当課長名	三関純一	
	施策	3 北関東自動車道沿線開発と企業誘致の促進				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 出流原PA周辺総合物流開発整備の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	1391	一般	2	1	7	出流原PAスマートインターチェンジ推進事業				
	出流原PAスマートインターチェンジ推進事業						市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	27年度～29年度			根拠法令 条例等	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針、出流原PAスマートIC整備に関する取組方針			
							任意的事業・義務的事业		任意的事業	
							実施方法		一部委託	
						事業分類		施設等整備事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		3-11		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
出流原PAにスマートインターチェンジの設置を図るため、国土交通省、東日本高速道路株式会社等の関係機関と協議を行い、連結許可申請に向けた実施計画書の策定を行う。 <事業内容> 平成27年度は広域的検討、交通量推計、概略設計等について協議を行う。 平成28年度は「準備段階調査箇所」に選定に選定してもらえるよう、引き続き関係機関と協議を行う。 選定された場合は、関係機関で組織する準備会を開催し、社会受益、利用交通量、ICの位置・構造等の詳細な検討を行う。 平成29年度は、関係機関で組織する地区協議会を開催し、連結許可申請に向けた実施計画書の策定を行う。		北関東自動車道出流原PAへのスマートインターチェンジ整備を目指し、国土交通省、東日本高速道路株式会社等の協議・調整を行った。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
関係機関協議回数		回		1	10	3	
準備会開催回数		回				3	
地区協議会開催回数		回					1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

スマートインターチェンジの設置において協議等が必要な機関・団体		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
関係機関協議機関数		団体			3	3	3	
準備会機関数		団体					3	
地区協議会機関数		団体						3

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

関係機関協議・準備会・地区協議会において、スマートインターチェンジ設置に必要な事項の合意形成を図る。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
関係機関協議によるスマートインターチェンジの協議事項の合意率		%					100	
準備会によるスマートインターチェンジの協議事項の合意率		%					100	
地区協議会による実施計画書の合意率		%						100

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

総合物流拠点として開発・整備されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
事業化件数		件			1			1

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			9,311		173			
	事業費計(A)	千円	0	0	9,311		173	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					旅費	16	報償費	4		
				需要費	82	旅費	107			
				委託費	9,180	需要費	22			
		使用料及び賃借料	33	使用料及び賃借料	40					
人件費	人			2		2				
のべ業務時間	時間			1,500		1,300				
人件費計(B)	千円	0	0	5,841		5,062	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	15,152		5,235	0			

事務事業名	出流原PAスマートインターチェンジ推進事業	担当部	総合政策部	担当課	北関東自動車道沿線開発推進室	担当係	出流原PA周辺開発推進係
-------	-----------------------	-----	-------	-----	----------------	-----	--------------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年4月に策定された「出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針」ではスマートIC設置の推進を図るとしている。また、平成26年10月31日に行われた北関東自動車道沿線開発検討委員会において、「出流原PAスマートインターチェンジ整備に関する取組方針」が決定され、整備促進に向けた取組を推進することとした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年実施された調査では、北関東自動車道沿線に企業立地を検討する企業においては、高速道路のインターチェンジへの近接性を重要視されている傾向がある。また、国においても、高速道路が持つストック効果を活かし、産業振興、観光振興等を図るため、積極的にスマートICの設置を推進するとしている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会の一般質問において、出流原PAへのスマートインターチェンジ設置は地方創生にも大きく寄与することから全力で取組むべきとの意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業につき対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 出流原PA周辺総合物流開発整備事業を効果的に推進するために必要な事業であり、施策の一つである「北関東自動車道沿線開発と企業誘致」の推進に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市の構想である出流原PA周辺総合物流開発事業の一部であるため、本市で調査を行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 スマートIC設置に向けた事務手続きを進めるにあたっては、スマートICの必要性等の事項について関係機関である国土交通省、東日本高速道路株式会社等の関係機関と合意形成を図ることが必要であるため、対象と意図は合っている。そのため、対象を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 関係機関・準備会・地区協議会による協議を継続的に実施することで、スマートIC整備の事業化を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費、人件費の削減は、協議などの事業進捗に支障をきたすこととなるため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 本事業は出流原PA周辺総合物流開発整備事業の一部であり、企業誘致による雇用の創出と経済の伸展による地域振興を目的としていることから、受益者は市民となり、個別に特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	出流原PAへのスマートインターチェンジ設置に係る高速道路への連結許可を獲得し、整備に向けた準備が終了した場合は事業終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	計画的に協議を進める。																				
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																						
関係機関・準備会・地区協議会による継続的な協議を実施して行く。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		成果維持			×	低下	×		×	
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
成果維持			×																			
低下	×		×																			